



文化的景観 「伊庭内湖と水路の村」 調査報告

文化的景観
「伊庭内湖と水路の村」
調査報告

例　言

- 1 本書は、文化的景観の選定を目的として、国庫補助を受けて実施した伊庭の水辺景観保存調査事業の調査報告書である。
- 2 本書は、本文、挿図、表、関連資料、写真図版からなる。
- 3 本調査は、重要文化的景観の選定を目的とした重点調査地域の価値について調査研究したものである。
- 4 調査は、東近江市が主体となって実施し、調査体制は以下のとおりである。

事務局 東近江市教育委員会

文化財課	課　　長	山本 一博	(平成 25 年度)
歴史文化振興課	課　　長	上川 喜久	(平成 26 年度～)
文化財課	課長補佐	小林 道明	(平成 25 年度)
歴史文化振興課	課長補佐	小林 道明	(平成 26～27 年度)
		井上 良一	(平成 28 年度～)
文化財課	主　　幹	荒巻 新吾	(平成 25 年度)
歴史文化振興課	係　　長	嶋田 直人	(平成 27 年度～)
歴史文化振興課	副 主 幹	荒巻 新吾	(平成 26 年度)
		嶋田 直人	(平成 26 年度)
		飯田 充	(平成 27 年度～)
文化財課	主　　査	嶋田 直人	(平成 25 年度)

東近江市文化的景観保存活用委員会

委員長	京都府立京都学・歴彩館館長	金田 章裕
副委員長	京都大学大学院工学研究科教授	山岸 常人
委 員	京都女子大学文学部教授	綾村 宏
委 員	滋賀県立大学人間文化学科教授	市川 秀之
委 員	滋賀県立大学人間文化学科准教授	東 幸代
委 員	京都大学大学院地球環境学堂准教授	深町 加津枝
委 員	京都府立大学文学部准教授	上杉 和央
委 員	京都大学大学院工学研究科助教	山口 敬太
委 員	地元代表	辻 吉弘
委 員	地元代表	奥村 耕司
委 員	地元代表	大西 恵三

オブザーバー 文化庁文化財部記念物課 市原 富士夫
同 鈴木 地平 (平成 25 ~ 26 年度)
同 青木 達司 (平成 27 年度)
同 永井 ふみ (平成 28 年度)
滋賀県教育委員会文化財保護課 畠中 英二

5 本調査に係る資料は、東近江市教育委員会で保管している。

6 本書の執筆は以下のとおり分担し、編集は嶋田が行った。

第一章 「伊庭内湖と水路の村」の特性

1 自然条件と立地条件 金田 章裕

第二章 内湖畔の形成と景観の歴史的変遷

1 古代・中世の伊庭集落 綾村 宏

2 近世の伊庭集落 東 幸代

3 明治・大正期の伊庭集落 東 幸代

第三章 文化的景観の自然的基盤

1 伊庭周辺の土地利用の変化 深町 加津枝

2 伊庭内湖の自然環境 深町 加津枝

第四章 水路と集落

1 伊庭内湖周辺の水系と集落景観の特徴 山口 敬太

2 伊庭集落と集落内水路網 山口 敬太

3 伊庭集落における集落内水路の利用 山口 敬太

4 伊庭集落における集落内水路の変化 山口 敬太

5 水路からみた伊庭の景観の特徴 山口 敬太

第五章 集落の構造と景観

1 伊庭集落の敷地内利用 上杉 和央

2 伊庭の民俗からみる文化的景観 市川 秀之

3 寺社建築とその特質 山岸 常人

4 伊庭集落の民家 山岸 常人

第六章 生業から造り出される景観

1 伊庭の農業サイクルと景観 上杉 和央

2 集落内での生業の展開 深町 加津枝

第七章 地域の認識と今後のまちづくり

1 環境美化、河川維持と風致 地元委員・事務局

2 次代に受け継ぐ川のある生活 地元委員・事務局

3 魚のゆりかご伊庭内湖 地元委員・事務局

4 伊庭桃の復活と活用 地元委員・事務局

第八章 自然・歴史・生活又は生業の特性

事務局

委員会開催経過

平成 25 年度 第 1 回 東近江市文化的景観保存活用委員会

日時・場所：平成 25 年 9 月 27 日・東近江市埋蔵文化財センター学習室

出席 委員：金田委員長、山岸副委員長、綾村委員、市川委員、東委員、上杉委員、山口委員、辻委員、奥村委員、大西委員

議 事：協議事項 担当分野の確認

東近江市での景観の取組みについて

平成 25 年度 第 2 回 東近江市文化的景観保存活用委員会

日時・場所：平成 26 年 3 月 10 日・東近江市埋蔵文化財センター学習室

出席 委員：金田委員長、山岸副委員長、綾村委員、市川委員、東委員、上杉委員、山口委員、辻委員、奥村委員、大西委員

議 事：報告事項 委託事業の内容と進捗状況

- ・先行調査について（建造物・景観）
- ・前回の課題確認
- ・歴史分野の課題確認
- ・自然分野の指摘事項と課題確認

東近江市での景観形成重点地区指定の取組みについて

協議事項 選定予定範囲について

- ・担当分野、担当項目確認
- ・近現代部分の項目と担当
- ・各担当実施分調査予定
- ・各担当分野専門外項目の調査の取り扱い

平成 26 年度 第 1 回 東近江市文化的景観保存活用委員会

日時・場所：平成 26 年 7 月 7 日・東近江市埋蔵文化財センター学習室

出席 委員：金田委員長、山岸副委員長、綾村委員、市川委員、東委員、深町委員、上杉委員、山口委員、辻委員、奥村委員、大西委員

議 事：協議事項 伊庭の水辺景観にかかる調査計画について

- ・各分野調査の進捗状況
- ・複数分野にまたがる調査の分担協議

平成 26 年度 第 2 回 東近江市文化的景観保存活用委員会

日時・場所：平成 26 年 12 月 1 日・東近江市埋蔵文化財センター学習室

出席委員：金田委員長、山岸副委員長、市川委員、東委員、深町委員、上杉委員、
山口委員、辻委員、奥村委員、大西委員

議 事：報告事項 伊庭の水辺景観にかかる調査計画について

・各分野調査の進捗状況と今後の予定

①景観アンケートの実施と結果について

②各分野報告

・前回委員会以降の伊庭町の状況について

①景観形成重点地区施行について

②伊庭町自治会公認ボランティアガイド（仮称）の創設

③その他 望湖神社滋賀県文化財建造物指定について

協議事項 地元景観調査報告会について

平成 26 年度 第 3 回 東近江市文化的景観保存活用委員会

日時・場所：平成 27 年 3 月 26 日・東近江市埋蔵文化財センター学習室

出席委員：金田委員長、山岸副委員長、市川委員、東委員、深町委員、上杉委員、
山口委員、辻委員、奥村委員、大西委員

議 事：報告事項 伊庭の水辺景観にかかる調査について

・地元景観調査報告会について

・各分野調査の進捗状況と今後の予定

協議事項 次年度調査予定について

保存活用計画について

次年度報告書執筆要領について

平成 27 年度 第 1 回 東近江市文化的景観保存活用委員会

日時・場所：平成 27 年 11 月 13 日・東近江市埋蔵文化財センター学習室

出席委員：金田委員長、山岸副委員長、市川委員、東委員、深町委員、山口委員、辻委員、
奥村委員、大西委員

議 事：報告事項 日本遺産の認定について

伊庭の水辺景観にかかる調査について

・各分野調査の進捗状況と今後の予定

協議事項 景観の本質的価値について

・景観の本質的価値について

- ・文化的景観の名称について
- 報告書執筆要領について
- ・目次の検討
- ・執筆のスケジュールについて

平成 27 年度 第 2 回 東近江市文化的景観保存活用委員会

日時・場所：平成 28 年 3 月 18 日・東近江市埋蔵文化財センター学習室

出席委員：金田委員長、山岸副委員長、市川委員、深町委員、上杉委員、山口委員、辻委員、奥村委員、大西委員

議 事：報告事項 伊庭の水辺景観にかかる調査について

- ・各分野調査の進捗状況

協議事項 景観の本質的価値について

- ・景観の本質的価値について
- ・文化的景観の名称について

報告書執筆要領について

- ・目次の検討
- ・執筆の概要について
- ・執筆のスケジュールについて

平成 28 年度 第 1 回 東近江市文化的景観保存活用委員会

日時・場所：平成 28 年 5 月 14 日・東近江市埋蔵文化財センター学習室

出席委員：金田委員長、山岸副委員長、市川委員、東委員、深町委員、上杉委員、辻委員、奥村委員、大西委員

議 事：協議事項 文化的景観にかかる調査報告書について

本質的価値の確認について

- ・文化的景観名称の確認

報告書の原稿執筆について

- ・目次の確認
- ・執筆分担の確認
- ・報告書執筆の仕様について
- ・執筆スケジュールについて

その他

- ・追加調査について

平成 28 年度 第 2 回 東近江市文化的景観保存活用委員会

日時・場所：平成 28 年 9 月 27 日・東近江市埋蔵文化財センター学習室

出席委員：金田委員長、山岸副委員長、綾村委員、市川委員、東委員、深町委員、
上杉委員、山口委員、辻委員、奥村委員、大西委員

議 事：協議事項 文化的景観にかかる調査報告書について

文化的景観名称の確認について

報告書の原稿執筆について

- ・ 目次の確認
- ・ 執筆の進捗について
- ・ 調査物件掲載に係る個人名の表記等について
- ・ 保存活用計画について
- ・ 構成物件の選定について

平成 28 年度 第 3 回 東近江市文化的景観保存活用委員会

日時・場所：平成 29 年 1 月 9 日・東近江市埋蔵文化財センター学習室

出席委員：金田委員長、山岸副委員長、綾村委員、市川委員、東委員、上杉委員、
山口委員、辻委員、奥村委員、大西委員

議 事：協議事項 文化的景観にかかる調査報告書について

文化的景観名称の確認について

報告書執筆の概要について

- ・ 分担分野の本質的価値の確認
- ・ 目次の確認
- ・ 「伊庭の文化的景観」の名称の確認

保存活用計画について

- ・ 概要説明

- ・ 章ごとの内容確認

目 次

第一部 「伊庭の文化的景観」保存調査

第一章 「伊庭内湖と水路の村」の特性	1
1 自然条件と立地条件	2
(1) 伊庭の立地と自然環境	2
(2) 近江の大規模村	4
(3) 伊庭と能登川	5
(4) 伊庭の産業と土地利用	6
(5) 伊庭の特性	8
第二章 内湖畔の形成と景観の歴史的変遷	11
1 古代・中世の伊庭集落	12
2 近世の伊庭集落	19
(1) 伊庭村の支配	20
(2) 中心集落としての伊庭集落	23
(3) 伊庭集落の生業	24
(4) 景観の変容	27
3 明治・大正期の伊庭集落	31
(1) 明治期の伊庭集落	31
(2) 明治期の生業	33
(3) 明治期の景観の変容	34
(4) 大正期の生業	36
第三章 文化的景観の自然的基盤	39
1 伊庭周辺の土地利用の変化	40
2 伊庭内湖の自然環境	45
(1) 自然環境と鳥類の分布	45
(2) 伊庭における魚類の分布と暮らしとの関わり	63
第四章 水路と集落	75
1 伊庭内湖周辺の水系と集落景観の特徴	76
(1) 明治期の大中の湖と湖岸集落	76
(2) 集落外水路の変遷	78

(3) 現況	83
2 伊庭集落と集落内水路網	84
(1) 明治 - 大正期の水路構造とその特徴	84
(2) 水路・カワト・護岸の現況	88
3 伊庭集落における集落内水路の利用	98
(1) カワやホリの利用	98
(2) 生活利用	103
(3) 流通・往来	104
(4) 灌溉利用	107
(5) 排水	108
4 伊庭集落における集落内水路の変化	109
(1) 戦前の変化（～1945年）	109
(2) 圃場整備以前の変化（1946～1980年）	115
(3) 圃場整備及び農村総合整備モデル事業による変化（1980年～）	115
(4) 水路の景観保全の取り組み	119
(5) 現在の水路に対する住民の意識	120
5 水路からみた伊庭の景観の特徴	123
 第五章 集落の構造と景観	125
1 伊庭集落の敷地内利用	126
(1) 生業・水路からみた敷地	126
(2) 交通手段の変化に伴う敷地の変化	127
(3) 敷地（屋敷畠）の特徴的な木	129
(4) 敷地利用からみた伊庭らしさ	132
2 伊庭の民俗からみる文化的景観	133
(1) 伊庭祭りと景観	133
(2) 伊庭の社会組織と文化的景観	150
(3) 寺院の民俗	166
3 寺社建築とその特質	169
(1) 寺社建築の分布	169
(2) 寺社建築の建設年代	170
(3) 寺社建築の特質	172
(4) 寺社建築各個解説	174
4 伊庭集落の民家	233
(1) 民家の建設年代	233

（2）民家の形式	234
（3）民家の変容過程	236
（4）民家の敷地割と家屋	237
（5）民家各個解説	240
 第六章 生業から造り出される景観	255
1 伊庭の農業サイクルと景観	256
（1）生業としての農業	256
（2）田畠の分布と所持	256
（3）移動の手段	257
（4）稲作のサイクル①田作りと稲の刈り取りまで	258
（5）稲作のサイクル②稲の刈り取り後の作業	260
（6）農業を通じた空間の利用	262
（7）農業からみた伊庭らしさ	263
2 集落内での生業の展開	264
 第七章 地域の認識と今後のまちづくり	271
1 環境美化、河川維持と風致	272
2 次代に受け継ぐ川のある生活	272
3 魚のゆりかご伊庭内湖	273
4 伊庭桃の復活と活用	274
 第八章 自然・歴史・生活又は生業の特性	275
付 錄	287

第一部

「伊庭の文化的景観」

保存調査

